

【 2023 年度 聖隷こども園・保育園 施設関係者評価 】
聖隷こども園ひかりの子

目的：浜松磐田地区の聖隷こども園・保育園が、お互いに客観的な視点で施設評価を行うことで、保育の資質向上を目指す。

【保育・教育理念】

聖隷の保育・教育理念が、日常の保育・教育に反映されているか。

- ・愛されて、愛する心を知り、お互いが大切な存在であることを知る。
- ・一人ひとりの違いに気づき、お互いを認め合いながら共に主体的に生活する。
- ・自己発揮できる環境の中で創造性を育てる。
- ・在園、地域の子育て家庭が、心豊かな環境で子育てできるように支援する。

コメント

聖隷の保育、教育理念についてはその根幹であるキリスト教保育についての知識や園として大切に受け継がれてきた思い等を知る職員が少なく、形ばかりが先行してしまい、考えや大切にしたいことへの理解が乏しいことが分かった。

若手職員への指導、その他の職員が持つ固定概念については指導が必要であると感じる。生活や遊びの中で子どもの自主性や自発性が大切にされる保育、自己表現を盛んに行える保育について、実践を重ねながら自園の課題に気づき改善しようとする試みが成されていた。

【人権尊重】

常に子どもの立場に立って、子どもの成長に最善となるような取り組み（関り・配慮）がなされているか。

コメント

個々を大切にしたい保育について、園全体で考え実践を始めている。

ゆるやかな育児担当制保育の経験がある職員が在籍する乳児クラスの実践から、他クラスの職員が学び、自クラスの環境に応用していく形でその姿勢は広がりを見せ始めている。しかし、子どもを遠くから大声で呼ぶ行為や製作活動や運動遊び、子どもの移動に関しては室内で手つなぎ移動を行うなど、所々で保育者主導の保育が行われていたため、保育者の関りや配慮について考えられるとより子どもの人権を大切にしたい保育が展開されていくと感じる。

【情報保護】

個人情報の保護は適切であるか。

コメント

園長管理の基、個人情報に関する重要書類、緊急連絡表、記録などで職員が使用するパソコンやタブレットなどの端末類など、個人が特定できるような情報や記録などは鍵のかかる場所にて保管管理していた。また、園内研修の計画に組み入れ個人情報、法令順守の研修を職員に実施している。

【苦情対応】

意見や苦情に対して、適切な対応ができているか。

コメント

入園時、保護者等の懇談会実施の際には必要に応じて説明を行っている。また、園だよりなどでも保護者へ向けて情報発信を行っている。その他、意見箱の設置。苦情などの受付、解決の窓口の周知については園内にて掲示案内をしている。保護者よりいただいたご意見に関しては、具体的に職員会議などの場において問題解決、改善についての話し合いを重ねる場を設けている。

【保健・衛生】

園児の感染症等の情報提供、日常の健康観察や感染症の拡大防止等の取り組みがなされているか。

コメント

ICT システムを活用し、家庭からの子どもの健康に関する情報提供と合わせ、子どもの健康観察を行っていた。園内は清潔に保たれ、子どもが使用する玩具や物に関して、定期的な消毒がされている。また、職員は感染症マニュアルを把握することで自身が感染源にならないことや、保育室に消毒液を設置するなどして感染予防に努めていた。保健部会の開催、複数ある聖隷のこども園保育園に在籍する看護師より、細やかな自園に関する感染状況等の情報共有を経て対策強化を行っている。

【安全】

救急・防犯・避難訓練等を通して、職員・園児の安全対応能力の向上を図るための取り組みがなされているか。

コメント

年間計画に、いつ、何をなすべきか子どもの安全確保に必要な取り組みを盛り込み実践的な訓練や研修の実施をしている。リスクの高い場面(午睡、食事、水遊び、園外活動)、緊急的な対応が必要な場面(災害、不審者侵入)など、資料を基に留意点を改めて確認し、マニュアルの見直しなどを行っている。事故発生防止に向けた環境づくりには職員間のコミュニケーション、情報共有、事故予防のための実践的な研修を行うなど組織的に取り組んでいる。

【運営】

施設・設備の環境や管理等、運営は適切になされているか。

コメント

認定こども園の認定基準により国から示された職員配置を満たしている。職員のシフト管理、日々の職員配置に関しては主幹保育教諭が状況に応じ欠員が出ないよう丁寧に適正配置を組み、職員の休みを保証しつつ最善に行われている。
設備に関しては、点検が行われ子どもが安全に使用できるよう配慮されている。

【環境美化】

園内外の清掃、物の整理整頓等、清潔で整然とした環境になっているか。また、季節感等が感じられる工夫がなされているか。

コメント

園庭は、おもちゃなどで散乱しておらず子どもがのびのびと遊べる環境が整っていた。
園内は季節の花で園内は彩られ、園内外共に整頓され清潔感を感じることが出来た。

【保育室】

室内の環境が子どもの発達に合わせて工夫され、玩具等適切に配置されているか。

コメント

環境を通した保育を意識して実践しているクラスがある中、室内の装飾や空間の使い方などに関しては、過度であったり未使用空間が存在し気になった点ではあるが、今まであった、パーティションを思い切って取り外し子どもの生活と遊びの環境を保証するといった取り組みをされ、子どもの様子に変化があったと聞いた。

保育室の玩具は、子どもの年齢発達に合った玩具が用意されており、日々のあそびの様子から変化を付けていた。

【保育内容】

全体的な計画に基づき、「歳児別保育目標」を意識した保育が展開されているか。

0 歳児

- ・ 神さまから預かったいのちとして大切にされる
- ・ 大人の愛情に包まれ、安心して過ごす
- ・ 意思がしっかり受け止められ、安心して自分らしさを出す

1 歳児

- ・ 保育者の祈りや讃美することを通して、神さまに出会う
- ・ 歩行と共に行動範囲をひろげ、興味・関心をひろげる
- ・ 神さまや周りの人たちに守られ、愛されていることを感じる
- ・ 全身を使ってあそび、言葉や身振りで自分の思いを表す

2 歳児

- ・ 神さまや周りの人たちに守られ、愛されていることを感じる
- ・ さまざまなことに興味・関心を持ち、保育者や友だちの中であそびを楽しむ。また、生活面の自立ができるようになる。

3 歳児

- ・ 保育者や友だちと一緒に讃美歌を歌うことやお祈りをすることを喜ぶ
- ・ あそびを通してイメージを広げ、社会や自然を理解し、友だちとあそぶことの楽しさやルールの大切さを味わう

4 歳児

- ・ 保育者や友だちと礼拝を守りながら日々を歩む
- ・ あそびを通して基本的な自然や物事の特徴を知り、友だちとのかかわりを通して葛藤を乗り越え、集団生活を豊かにする

5 歳児

- ・一人ひとりが神さまから違った良いものをいただいていることを認め合って過ごす
- ・共同的な活動を通して、子どもたちが自分の役割を知り、互いに認め合いながら、主体的に行事やクラスの運営を行う

コメント

キリスト教保育について、短期指導計画に文言が載っていない歳児があった。思いの共有や歳児で大切にしたい事柄について子どもに提供できているかなどを園として確認できると良いと感じる。

【全体を通して】

コメント

園長、主任共に異動する頻度が高く入れ替わりの多い園でありながらも、職員ひとり一人の様子を気にかける園長の存在が、職員の安心感につながっていると複数の職員からのコメントがあった。職員は対話を通し、様々な取り組みへと繋がっているように感じた。

ひかりの子の園舎の構造上、増築されたため横に長く玄関が2か所あることで、お互いの保育が見えにくかったり、連携が取りづらいといった現状もあるようだが、職員が子どもの最善について考え、環境や保育者の関りなど、ひかりの子の保育が変化しつつあることを感じた。今後の保育や職員の変化が楽しみである。

評価日 2023年 11月 30日

評価者 園名 聖隷こども園めぐみ

役職 保育主幹教諭

氏名 高木智美